

目標達成計画

作成日：平成25年10月24日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	15-21 23-25 37-55	利用者一人一人の思いを大切に、利用者が諦めることなくイキイキと生活することを目指して、ここ何年か続けて同様の目標を掲げてきた。去年、今年と新入職員が入ってきたこともあり、基本に立ち帰り、利用者に関わる心構えとして、目標にあげた姿勢を持ち続けていきたいと思ひ、設定。	安心してもらえるケアを目指す！～1日1日を大切に～ ・ご利用者がどうすれば安心・納得を得られるかを探していく！ ・ご利用者の気持ちを理解しようとする姿勢を持ち続ける！ ・ご利用者のイキイキとした生活のために知恵を絞る！	・常に利用者の思いを理解する姿勢を持つ。 ・安心してもらえる声かけについて考える。 ・利用者の声に耳を傾け、会話の中から何がしたいか、どう思っているか、情報を集める。 ・月2回ある、会議でも常に振り返りを行い、意識付けを行う。 ・アセスメント、ひもときシートを活用し、情報の共有に努める。	12ヶ月
2	2.3	これも、近年目標に掲げ続けている。行事への参加の呼びかけ、挨拶、会話等で地域の方との交流は出来始めているが、認知症介護を行っている事業所として、それを活かした働きかけをするまでには至っていない。もっと自らの情報発信と、日頃からの地域の方との交流の機会を増やしていきたい。	地域への情報発信 ・メイプルリーフのことを地域の人に知ってもらい、利用者と地域の方がより多くの交流を持てるように、自ら情報を発信し、関心を集め、来てもらうきっかけ作りに努力します！	・夏祭り、餅つき等の行事への地域の方へ呼び掛け。チラシの配布。直接、声をかけ、呼び掛ける。 ・日頃の挨拶、会話。(散歩、ホーム前等) ・庭の活用。 ・認知症サポーター養成講座の開催、呼び掛け。	12ヶ月
3					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。